



## 山都町立矢部小学校　学校だより

# 自分らしく ~Be Unique~

矢部小HP

令和7年3月17日（月）

第47号

2次元コード←カラー閲覧できます 校長 池部 聖吾智(みわとも)

このたびは標記アンケート回答にご協力いただき感謝します。全75件の回答でした。概ね一定の評価をいただきました。特にHPのブログについては、たくさん的好意的な意見をいただきました。

一方で課題も明らかになりました。学習環境面では約半数が、教育方針が見えにくい、読書習慣が不十分と回答された方がいすれも約4割（わからぬも含む）でした。

記述欄に寄せられたご意見は、職員が元気の出る内容ばかりでした。具体的には「先生の熱意が伝わる」「子どもたちに対する愛情をすごく感じる」「上級生の下級生への優しさを感じた」「先生方がいつも笑顔で素敵な学校だと思う」などの意見が寄せられました。

良い点はさらに伸ばし、課題については克服していきますので次年度もご支援・ご協力をよろしくお願いします！

進学・進級を控えた子どもたちに贈る特別授業（4年：12日・6年：14日 ※校長の歌付等）



4年生の授業後の感想に「校長先生が、『友だちはひとつないって言うのもおもしろい』って言ったのがびっくりした」と書いた子がいました。これは、授業の冒頭に「友だちは必要か？」という私の問いに4年生全員が「はい」と答えた事に対する私の反応のことを指しています。

6年生の授業（は、ノーベル（ダイナム[6]4年道德「しんゆうを考える」イトを開発した）の話をすると、修学旅行で平和教育を学んだ6年生は、当然ノーベルに対して批判的な見方をしました。ここで、ノーベルは元々は安全な建設作業のために開発したこと伝えました。私の授業のモットーは「子どもに刺激を与える」「これまでの常識をくつがえす」「全員参加」です。少しは子どもたちの心に刺さったかな？



矢部抄　课後の中庭を観ると珍しく5年生が”占拠”していきたので思わず撮影した▼子どもたちはすぐに「わっ！撮られた」と反応。「でも顔にはボカシが入るよ」と言っていたが今回は通信だからボカシなしだよ！（笑）▼最近、子どもたちの遊ぶ姿をしみじみと観ている。本当にかわいらしい子ばかりである。「矢部小に来て本当に良かった」心からそう思う▼道徳の授業を自身の歌声で締めくくるスタイルが確立してきた（苦笑）。6年生の授業直後にくんが「ボクもこの歌、好きです」と話してきた。また4年生の感想に「また歌つてください」と3名が書いていたが、もう歌う機会は・・・「別れ」と「出会い」の春はすぐそこまで来ているようだ。

